

# 公共施設予約システムの取り組み状況 および高齢者を支えるしくみについて

奥村 恭弘議員

草津市民連合

**質問** 公共施設予約システムの整備は平成17年度、実証実験への参加等、平成18年度、基本構想・設計、平成19年度にはシステム開発・順次運用開始となっているが、このシステムについての内容を伺う。

**答弁** 社会体育施設等の空き情報をインターネットで提供し、同時に予約できるシステムを考へており、現在、県及び県内自治体で構成する「おつみ自治体ネット整備推進協議会」内で取り組んでいる電子申請システム共同開発のひとつとして調査・検討を進めている。平成19年度は水道の開閉栓などの申請から運用を開始し、順次対象を拡大していく予定である。

**質問** 草津市は若年層の増加があるものの、古くに開発された住宅地では高齢化が進んでいる。現在、老老介護が社会問題としてクローズアップされているが、市の現状、行われている施策、対策について伺う。

**答弁** 本市の状況について、「くさつゴールドプラン21第3期計画」策定過程において実施した在宅要援護者需要調査では、介護者の年齢構成で70歳以上の方の比率は25・8

%、60歳以上で49・9%となっている。介護保険制度や各種の高齢者福祉サービス、介護者支援サービスを総合的、有機的な連携により利用いただき、介護負担の軽減を図っていただくためのケアマネジャーの資質向上や関係機関の連携強化に取り組んでいる。



くさつゴールドプラン21 第3期計画

**他の質問**  
・草津市情報化推進計画・実行計画の特徴について  
・防災・防犯等の情報化と安全システムの構築について



# 市役所窓口サービス向上および 中学生の「ことばの教室」について

西村 隆行議員

公明党

**質問** 今回の窓口サービス向上市民アンケートで大変貴重な市民の方々のご意見をいただいたが、常に前向きに職務に取り組む意欲を養うために、市として、どのような改善に取り組んでいかれるのか伺う。

**答弁** 市民にどうすれば満足いただけるかを常に考え続け、実践していくことが重要であり、問題意識を持ち、計画、実行、評価、改善というPDCAのマネジメントサイクルの意識を持つて、常に継続的な業務改善運動を行うことが不可欠だと考えている。今後は、各部署単位で接遇モデル課を指定し、接遇能力向上の輪の拡大を図るなど、業務改善を進め、市民満足度の向上に努めていきたい。

**質問** 今、小学校5年生6年生で「ことばの教室」に通っておられるお子さんが中学生になられたら、中学校での「ことばの教室」の「通級指導」については市として、どのように取り組んでいかれるのか伺う。

**答弁** 本市では現在、中学生対象の通級指導は行っていないが、保護者の希望に添って小学校の通級指導教員が定期的な教育相談をしているケ

すはある。今後、小学校での通級指導を見定め、中学校で必要となる生徒の状況を判断し、中学校への通級指導教員の配置を県教育委員会へ要望していきたい。



ことばの教室

# 次の定例会は 3月です。



## 3月定例会の予定

月	日(曜日)	内 容
2月	28日(水)	本会議 (開会、市長提案説明)
3月	8日(木)	本会議 (代表質問)
	15日(木)	本会議 (質疑および一般質問)
	16日(金)	本会議 (質疑および一般質問)
	19日(月)	総務常任委員会
	20日(火)	総務常任委員会・文教厚生常任委員会
	22日(木)	文教厚生常任委員会・産業建設常任委員会
	23日(金)	産業建設常任委員会
	27日(火)	本会議 (委員長報告、採決、閉会)

本紙に掲載された質問・答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、インターネット議会中継(録画中継)および会議録(2月下旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、市立図書館、行政資料室などに備えてあります。また、会議録は、ホームページでもご覧いただけます。

**他の質問**  
・市立障害者福祉センターについて  
・要介護認定状況について